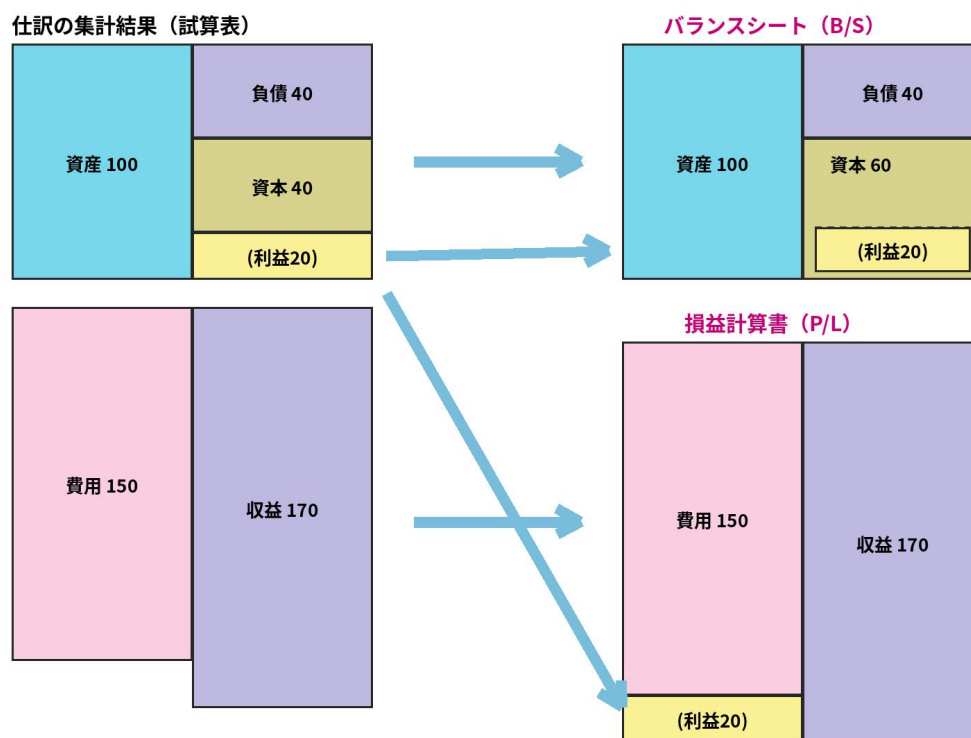


第 1 回の確認テスト

氏名： _____

問 1 次の勘定科目は「資産・負債・資本・収益・費用」のどれに当たりますか。記入しなさい。

ヒント：下の図の 5 つの箱のどれに入るかを考える。仕訳を集計すると左の試算表になり、上下に切り分けると B/S と P/L になる。利益は両方の表に同じ金額で現れる。



1. 現 金		6. 備 品		11. 仕 入	
2. 売掛金		7. 建 物		12. 給 料	
3. 買掛金		8. 資本金		13. 水道光熱費	
4. 借入金		9. 売 上		14. 支払利息	
5. 貸付金		10. 受取手数料		15. 支払家賃	

問 2 次の取引の仕訳を書きなさい。（仕訳トレーニング 10 題）

使う勘定科目：現金／備品／貸付金／借入金／資本金／売上／受取手数料／仕入／給料／支払家賃／支払利息 ※問 10 のみ借方が 2 行

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
問 1 現金 800,000 円を元手として出資を受け、株式会社を設立した。			
問 2 銀行から現金 500,000 円を借り入れた。			
問 3 事務所で使うパソコン 150,000 円を購入し、代金は現金で支払った。			
問 4 商品を販売し、代金 250,000 円を現金で受け取った。			
問 5 販売用の商品 120,000 円を仕入れ、代金は現金で支払った。			
問 6 従業員の給料 180,000 円を現金で支払った。			
問 7 取引先の紹介を行い、手数料 20,000 円を現金で受け取った。			
問 8 事務所の今月分の家賃 60,000 円を現金で支払った。			
問 9 取引先に現金 100,000 円を貸し付けた。			
問 10 借入金のうち 50,000 円を、利息 2,000 円とともに現金で返済した。			

解答

【問 1】

1. 現 金	資産	6. 備 品	資産	11. 仕 入	費用
2. 売掛金	資産	7. 建 物	資産	12. 給 料	費用
3. 買掛金	負債	8. 資本金	資本	13. 水道光熱費	費用
4. 借入金	負債	9. 売 上	収益	14. 支払利息	費用
5. 貸付金	資産	10. 受取手数料	収益	15. 支払家賃	費用

覚え方：『受取〇〇』は収益、『支払〇〇』『〇〇費』は費用。あとで受け取る権利（売掛金・貸付金）は資産、あとで支払う義務（買掛金・借入金）は負債。

【問 2】

問	借 方	貸 方
1	現金 800,000	資本金 800,000
2	現金 500,000	借入金 500,000
3	備品 150,000	現金 150,000
4	現金 250,000	売上 250,000
5	仕入 120,000	現金 120,000
6	給料 180,000	現金 180,000
7	現金 20,000	受取手数料 20,000
8	支払家賃 60,000	現金 60,000
9	貸付金 100,000	現金 100,000
10	借入金 50,000 支払利息 2,000	現金 52,000

※どの仕訳も借方合計＝貸方合計。問 10 は借方 52,000 円＝貸方 52,000 円で一致する。

第 2 回 講義資料 — 商品売買 —

【商品売買の記帳】⇒2 つの方法がある！基本、三分法で。

三分法：「仕入」「売上」「繰越商品」の 3 つの勘定科目を使用して商品売買を記録する方法

分記法：「商品」「商品売買益」の 2 つの勘定科目を使用して商品売買を記録する方法

現金 100 円で商品を仕入れたとき	現金 300 円で売り上げたとき
三分法：仕入 100 / 現金 100	三分法：現金 300 / 売上 300
分記法：商品 100 / 現金 100	分記法：現金 300 / 商品 100 ・ 商品売買益 200

【相手負担のケース】※当社負担のケースはテキスト P.25 ・ 26

（仕入）①「立替金」勘定を使って処理 ②「立替金」勘定を使わずに処理

①仕入 400,000 / 買掛金 400,000 立替金 1,000 / 現金 1,000	②仕入 400,000 / 買掛金 399,000 / 現金 1,000
---	---

（販売）①売掛金 300,900 / 売上 300,900 発送費 900 / 現金 900

【商品売買に係る付随費用の処理方法】

- ・仕入（当社負担）→「仕入」に含める
- ・仕入（相手負担）→「立替金」（資産）で処理 or 「買掛金」から控除
- ・売上→どちらも「発送費」（費用）で処理 ※但し、相手負担では発送費を売上に含める

（参考）勘定科目一覧表

貸借対照表		勘定科目一覧表		損益計算書
資 産	負 債	費 用	収 益	
現金・小口現金・当座預金	支払手形・買掛金・前受金	仕入・売上原価・発送費	商品売買益・売上	
普通預金・定期預金・売掛金	借入金・手形借入金	給料・広告宣伝費	有価証券売却益	
受取手形・有価証券・商品	当座借越・未払金	支払手数料・支払利息	受取家賃・受取地代	
繰越商品・消耗品	仮受金・商品券	旅費交通費・貸倒引当金繰入	受取手数料・受取利息	
貸付金（○○貸付金）	未払○○（未払費用）	貸倒損失・減価償却費	受取配当金	
手形貸付金	前受○○（前受収益）	通信費・消耗品費・水道光熱費	有価証券利息	
立替金（○○立替金）	預り金（○○預り金）	支払家賃・支払地代・保険料	雑益	
前払金・未収入金・仮払金		租税公課・修繕費	貸倒引当金戻入	
他店商品券		有価証券売却損・雑費	償却債権取立益	
前払○○（前払費用）	純資産	手形売却損・雑損	固定資産売却益	
未収○○（未収収益）	資本金	固定資産売却損・保管費		
建物・備品・車両運搬具・土地				
その他の勘定科目				
現金過不足※1	現金過不足※1	※1 一時的な勘定科目であり、最終的にはゼロになる		
当座※2・引出金※1	当座※2・貸倒引当金※3	※2 当座借越の処理について一勘定制を採用した場合に使用		
	減価償却累計額※3	※3 精算表では負債に表示されるが、 貸借対照表では資産のマイナスとして表示		

【第 1 回の復習＆問題】

- 次のうち、簿記上の取引に該当するものは？（⇔一般的な取引）
 - 火災によって倉庫に保管していた商品 20,000 円が消失した。
 - A 社から商品 500 円の注文を受け、承諾した。
 - A 社に商品 500 円を販売し、代金は後日受け取るものとした。
 - 家賃月額 30,000 円の店舗を借りる賃貸借契約を締結した。
- 次のうち、簿記の取引の組み合わせとして、存在しないものは？
 - 資産の増加と資本の増加
 - 資本の減少と資産の増加
 - 費用の発生と資産の減少
 - 収益の発生と負債の減少
 - 資産の増加と負債の増加
- 次の取引の仕訳は？（科目：現金、普通預金、消耗品、受取配当金）
 - A：現金 10,000 円を普通預金口座に入金した。
 - B：消耗品を購入するために、普通預金から現金 5,000 円を引き出した。
 - C：消耗品を購入して、代金 5,000 円を現金で支払った。
 - D：岡崎株の配当金 3,000 円が普通預金に振り込まれていた。（税金は考えない）